

Product Manual

取扱説明書

2009年01月作成

製品の特徴

このたびは、NEU MPX-DSPをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

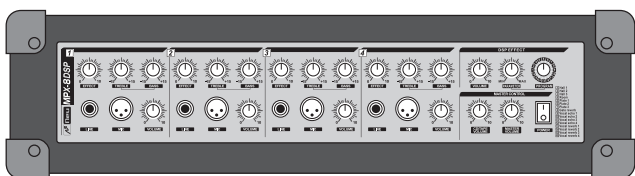
MPX-DSPは、ポータブルPAに最適な4チャンネルのパワードミキサーです。豊富な入力チャンネル数と屋外での使用でも十分な出力を持ち、高品位なDSPエフェクトなど多数の機能を搭載しています。

イベントやパーティでの司会・ライブパフォーマンス・カラオケ・講演会・会議など、さまざまな用途にご利用頂くことができます。

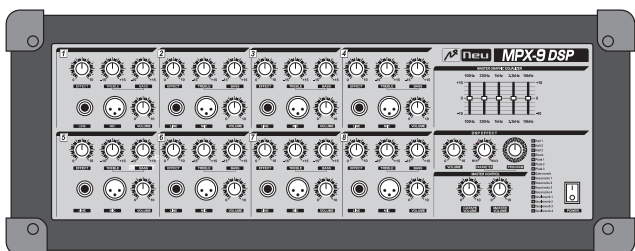
この取扱説明書をよくご覧になってからご使用下さい。

NEU

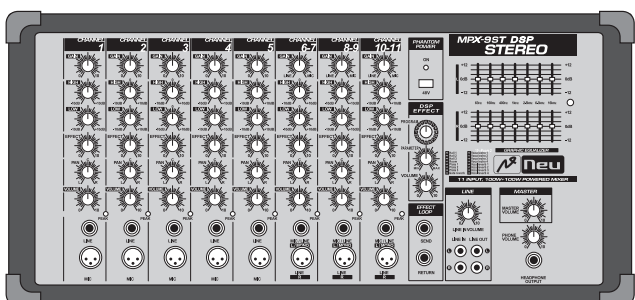
MPX-8 DSP



MPX-9 DSP



MPX-9ST DSP



注意

1. 使用について

- 雨や霧、埃を避けてご使用下さい。設置の際は水平で安定した地面に設置し、転倒しないよう注意して下さい。また振動や衝撃を与えないで下さい。
- 周囲の環境に配慮した音量でご利用下さい。
- この機器と電源アダプターは、風通しの良い、通気のある場所に設置してください。
- 電源アダプターを機械やコンセントに接続するときは、ケーブルではなくボディやプラグを持ってください。
- 演奏以外の場合と長時間使用しない場合は、電源アダプターをコンセントからはずしてください。
- 接続したケーブル類は、きれいにまとめてください。事故や破損の原因となります。
- この機器の上に乗ったり、重いモノを置かないようにしてください。
- 濡れた状態で、電源アダプターなどにさわらないでください。
- 機器を移動する場合は、電源アダプターをコンセントからはずし、他機器との接続をはずしてください。
- 落雷のおそれのある場合は、電源アダプターをコンセントからはずしてください。
- 日本国内 100V仕様です。ステップアップ電源などと共に使用した場合、機械に大きなダメージを与える場合があります。

2. 電池について

電池を使用する機器の場合、電池の取扱には充分にご注意ください。

- 電池の極性を間違えないようにしてください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 液漏れには充分ご注意ください。
- 液漏れした場合、電池ケース内の液をよくふきとってから、新しい電池をいれてください。金具の腐食が発生している場合、お買い上げ店にご相談ください。液が身体に付着した場合は、ただちに水でよく洗い流し、医師にご相談ください。
- 電池を、金属製のものと同時にしないようにしてください。
- 使用済み電池は、分別ゴミとして正しく処理してください。

製品内容

- ・本体・電源ケーブル

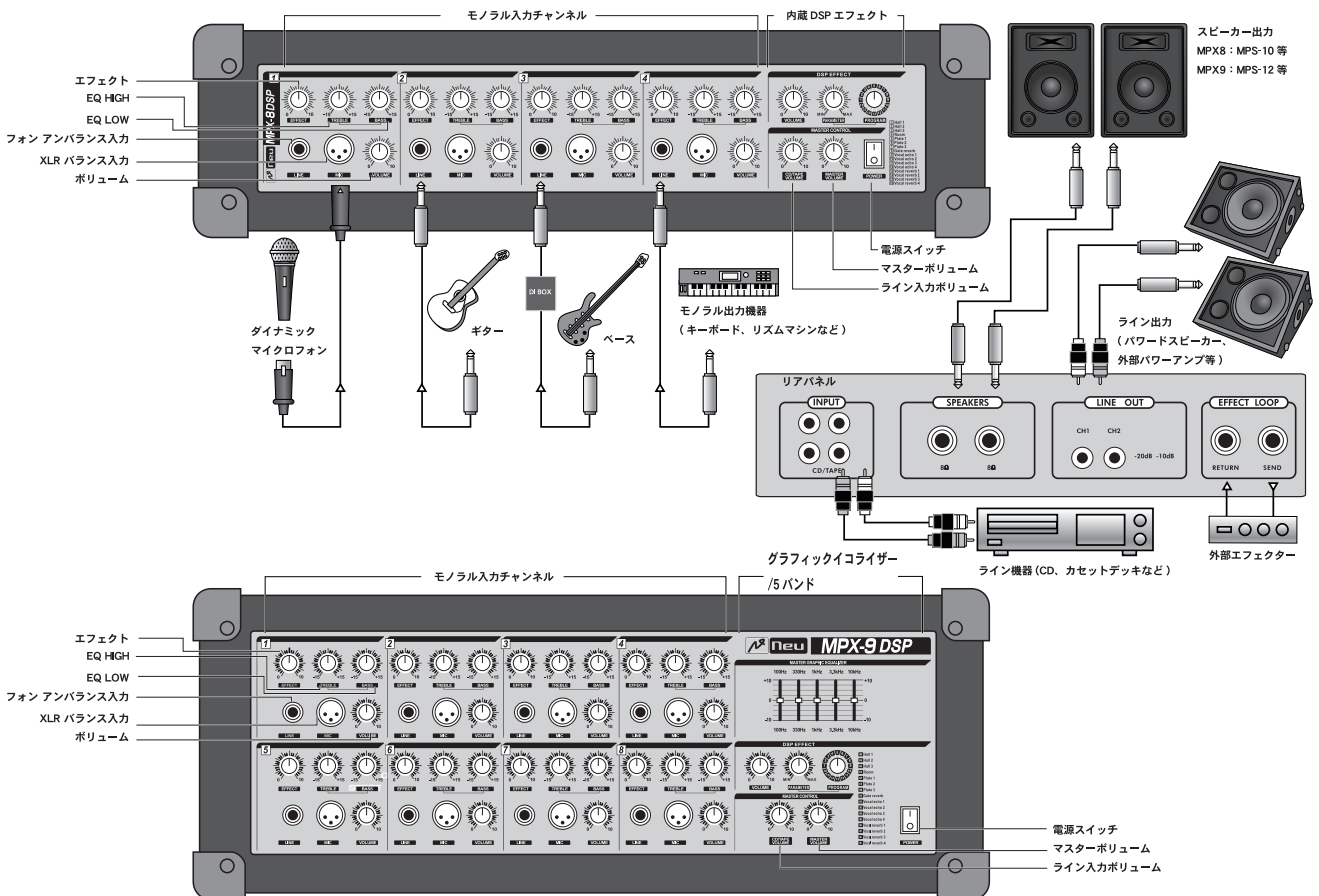
基本的な使用方法

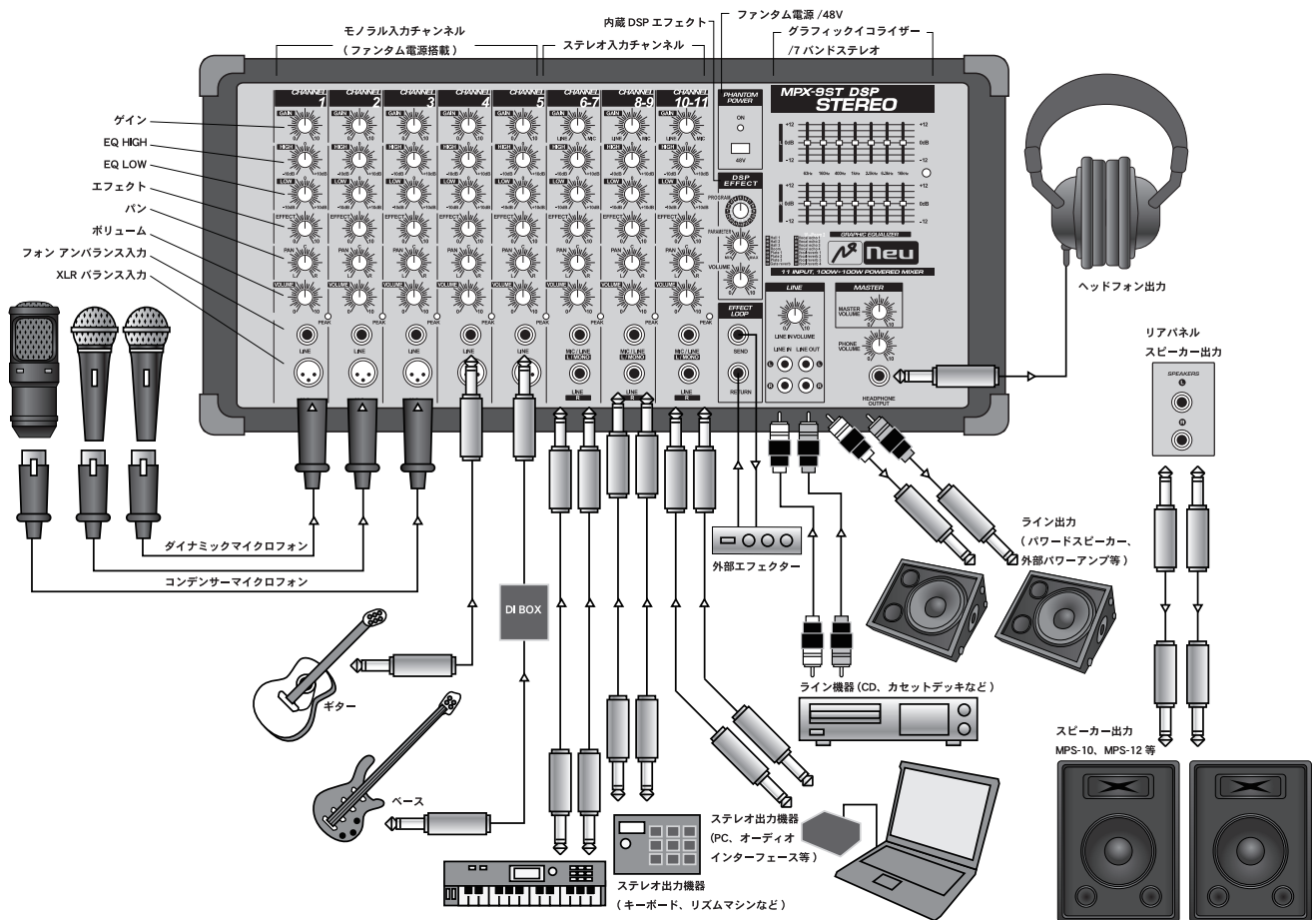
- 1- 本体ミキサーとスピーカー（MPS-10等）を、スピーカーケーブルで接続します。（MPS-10スピーカーの3つの入力端子のうち1つに接続します。）
- 2- ミキサーの電源がOFFであることを確認し、電源ケーブルを接続します。（アース付コンセントになっています。アースは必ず接地させてください。）
- 3- マイクや楽器を接続します。（マイクは必ずCh1～4のXLR端子に接続してください。）*マイクをフォン端子（LINE）に接続した場合、「マイクの音が小さい」「ノイズが出る」などの症状が発生します。
- 4- すべてのチャンネルのボリューム、マスターボリュームが0であることを確認し、電源をONにします。*ボリュームが0でない場合、電源投入時のノイズなどで機器の破損につながる場合があります。
- 5- 各チャンネルのゲイン、ボリューム、マスターボリュームで音量を調節します。（小さい音量から徐々にボリュームを上げてください。PEAK LEDを参考に決定します）
- 6- 使用を終える場合は、まずすべてのボリュームを0にし、電源をOFFにしてください。ケーブルや機器を取り外します。

警告

	●この機器を使用する前に、かならず以下の注意事項と取扱説明書をよく読んでください。		●本体および電源アダプター・ケーブルの上に重いモノを載せたりしないでください。キズや破損の原因となります。
	●この機器と電源アダプターを分解したり改造しないでください。		●適切な音量で使用してください。あなたの聴力や健康に重大な影響を与える場合があります。
	●修理や部品の交換などは、お買い上げ店もしくは指定のサービス以外では絶対におこなわないでください。		●機器内に異物や液体が混入しないようにしてください。
	●楽器演奏用の器具です。楽器演奏の用途以外には、使用しないでください。一般オーディオ器具として使用する製品ではありません。		●煙が出たり変なニオイがするなどの異常状態のままで使用しないでください。故障・破損・事故・火災・感電等の原因となります。
	●国内 100V のみ対応。 付属の電源アダプターを使用してください。		●異常と思われるときにはすぐに電源プラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合、ご購入店に修理を依頼してください。
	●次のような場所での使用・保管は避けてください。温度が極端に高いまたは低い場所（直射日光・冷暖房器具の近くなど）、水気のある場所と湿度の高い場所（洗面所・雨中・霧中など）、ホコリの多い場所、振動の激しい場所、ほか。		●お子様の手の届かない場所で使用してください。
	●真空管を使用しています。不適当な取扱は、器具の破損、管球の破裂の原因となります。		●この機器を落としたり、強い衝撃を加えないようにしてください。
	●本体は水平な安定した場所に設置してください。不安定な場所の場合、落下や物的損傷・けがの原因となります。		●電源容量にはご注意ください。タコ足配線などの無理な配線は火災の原因となることがあります。

各部の名称と接続例





フロントパネル

電源スイッチ

電源のON/OFFを切替することができます。ON/OFF時にノイズが出る場合があります。マスターボリュームを0にした状態でON/OFFしてください。

マスターボリューム

- **MASTER VOLUME** 全体の音量を調整することができます。
- **CD/TAPE VOLUME** CD/TAPE 入力の音量を調整することができます。

入力チャンネル

- **ライン入力** 楽器などのライン入力に使用します。
- **マイク入力** XLR キャノンタイプのケーブルを挿入してマイク入力に使用します。(マイクをライン入力に接続すると、音が小さい / ノイズが多いなどの症状が発生します)
- **ゲイン** 入力レベルを調整することができます。(MPX9ST-DSPのみ)
- **エフェクト** 内蔵 DSP エフェクトまたはエフェクトセンドに音声信号を送ります。不要なノイズを避けるため、使用していないチャンネルはゼロにしてください。
- **イコライザー** TREBLE (高音域) BASS (低音域) の2バンドをブースト / カットします。センターを中心に、不要な音を補正することができます。
- **パン** 入力した音を左右に振り分けることができます。(MPX9ST-DSPのみ)
- **ボリューム** 各チャンネルに入力したソースの音量を調整することができます。

DSP エフェクトセクション

- **VOLUME** エフェクト全体の音量を調整します。
- **PARAMETER** エフェクトの深さやかかり具合を調整することができます。右に回すほど強調することができます。
- **PROGRAM** DSP エフェクトを選択することができます。

グラフィックイコライザー

全体の音質を補正することができます。

- **MPX9-DSP** 5 バンド
- **MPX9ST-DSP** ステレオ 7 バンド

リアパネル

CD/TAPE 入力

お持ちの CD プレーヤーやカセットデッキを接続することができます。(モノラル)

スピーカー出力

スピーカーケーブルを使用して MPS-10 等のスピーカーと接続します。

ライン出力

ライン信号を2系統出力することができます。-20db/-10cb の切替ができます。パワードモニタースピーカー (NEU PS-120X) 等スピーカーを増設することが可能です。

エフェクトループ

外部エフェクトを接続します。内蔵エフェクトはバイパスされます。

※ MPX-9ST DSP 仕様

電源スイッチはリアパネルに配置されています。フロントパネルに **LINE IN, OUT, EFFECT LOOP, HEADPHONE OUT**、コンデンサーマイク等に使用可能な **48V ファンタム電源** (Ch1~5 の MIC 入力) を搭載しています。

エフェクトプログラム

- | | | |
|-------------------|---|-------------------------|
| 01 Hall 1 | } | ホールの残響のような効果をシミュレートします。 |
| 02 Hall 2 | | |
| 03 Hall 3 | } | 部屋の残響のような効果をシミュレートします。 |
| 04 Room | | |
| 05 Plate 1 | } | プレートリバーブをシミュレートします。 |
| 06 Plate 2 | | |
| 07 Plate 3 | | |
| 08 Gate reverb | } | ゲートリバーブをシミュレートします。 |
| 09 Vocal echo 1 | | |
| 10 Vocal echo 2 | } | ボーカルにエコーをかけることができます。 |
| 11 Vocal echo 3 | | |
| 12 Vocal echo 4 | | |
| 13 Vocal reverb 1 | } | ボーカルにリバーブをかけることができます |
| 14 Vocal reverb 2 | | |
| 15 Vocal reverb 3 | | |
| 16 Vocal reverb 4 | | |

ご使用にあたって

- 各接続はしっかりとプラグを差し込んでください。
- 電源を ON/OFF する時は必ずマスターボリュームを 0 にしてください。過大な入力や突発的な音などは機器を破損する場合があります。
- ミキサー部は熱源から離し、通気の良い安定した場所に設置してください。
- 保管時は、湿気やほこりを避け、通気の良い場所で保管してください。

ハウリングについて

ハウリングは、スピーカーからの出力音をマイクや楽器が集音することによっておこります。

- ・イコライザーで特定の周波数を抑える。
- ・スピーカーとマイク / 楽器の位置関係を変える。
- ・ボリュームを下げる。

などの対処法があります。

ハウリングは機器や人体に深刻なダメージを与えることがあります。ハウリングは起こった場合は、すみやかに対処するようにしてください。

トラブルシューティング

電源が ON にならない

- ・電源ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ヒューズが切れていませんか？

音が出ない

- ・マスターボリュームが 0 になっていませんか？
- ・電源が ON になっていますか？
- ・ケーブルが破損・断線していませんか？

音が小さい

- ・マイクを LINE 端子に接続していませんか？

音が割れる、ひずむ

- ・ボリュームが大きすぎませんか？
- ・楽器等を MIC 端子に接続していませんか？
- ・楽器やデッキのボリュームが大きすぎませんか？

スペック

MPX-8 DSP

- 電源：AC100V 50/60Hz ■消費電力：95W
- 出力：50Wx2@8 Ω 75Wx2@4 Ω
- ヒューズ：2A
- 寸法：W474 H125 D265mm 10kg

MPX-9 DSP

- 電源：AC100V 50/60Hz ■消費電力：102W
- 出力：50Wx2@8 Ω 75Wx2@4 Ω
- ヒューズ：2A
- 寸法：W515 H200 D280mm 18kg

MPX-9ST DSP

- 電源：AC100V 50/60Hz ■消費電力：200W
- 出力：100Wx2@8 Ω 150Wx2@4 Ω
- ヒューズ：3A
- 寸法：W520 H255 D300 mm/13.5kg

MPS-10

- 寸法：W380 H508 D250mm 8kg

MPS-12

- 寸法：W395 H562 D250mm 10kg
- ケーブル長：スピーカーケーブル約 5M、電源ケーブル約 1.5M

オプション

スピーカー（推奨）

- NEU MPS-10 10 インチ スピーカー / ペア
- NEU MPS-12 12 インチ スピーカー / ペア
- NEU MPX-DSP シリーズと相性の良い 10 インチ PA スピーカーです。



モニタースピーカー

- NEU PS-120 60W 出力 / ペア
- プレイヤーのためのモニタースピーカーとして、あるいは更に広い範囲へ音を届けるための増設用スピーカーとして最適なのがパワードスピーカーです。パワーアンプを内蔵していますので、MPA-8000III のライン出力から接続するだけでスピーカーを増やすことができます。

スピーカースタンド

- Triprop STS-50 アルミ製スピーカースタンド
- スピーカースタンドを使用すると、音声の到達範囲が広がり、聞きやすくクリアな音になります。マウント穴は直径 35mm です。



マイクroフォン

- SEIDE PRO-30S ダイナミックマイクroフォン / スイッチ付
- ボーカルや司会、楽器収録などに使用できる丈夫でスタンダードなマイクです。ケーブル・ケース付属。



この取扱説明書について

- IDE コーポレーション有限公司が制作しています。内容に関する問い合わせは、下記まで。
- IDE コーポレーション有限公司 〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24
- 製品の機能は、改良のため変更されている場合があります。そのため、技術的なデータおよび製品の図面・写真が実際と異なる場合があります。
- 本書に記載の商品名等は、各社の商標または登録商標です。